

令和5年度 市民憲章推進協議会 いただいた御意見

協議会開催日：令和5年4月26日（水）

参加者：協議会委員（11名）、オブザーバー（2名）

・それぞれのステークホルダー、階層に何を特に重点的に伝え、市民憲章の推進テーマや実践目標を達成するののかというガイドラインが必要と思います。さらには、推進テーマや実践目標で小中学生から大事にしないといけない事をもっと伝えていくべきではないでしょうか。

・市民憲章を制定している他の自治体がどのような形で目標を作り、実行し、成果を残しているのかということを知ることも大事だと思います。そうしたコンテンツに対する意見ではなく、それを実現するためのアプリケーションを考えていくべきだと思います。

・実践目標4について、文化庁の京都移転について、まだ実態を知らない市民の方が意外と多いのではと思います。文化の発展に向けた機運が移転によって着実に浸透していけばよいと思います。

・実践目標2の行動例にある公共交通機関の利用促進です。脱炭素はもちろん、地下鉄の経営再建もあるので、より強く打ち出していければと考えます。

・実践目標5について、観光客が増えてきたので改めて大事になると思います。世界の観光客の皆さんにより印象を持って帰っていただくことが、長期的に観光課題の解決にもつながると思います。

・市全体に市民憲章の推進テーマや実践目標を広げるのは非常に難しく、どうしても総花的になるので、例えばもっと絞り込んだり、重点項目を設定したりという工夫を来年以降は少し考えてもよいのではと思いました。

・交通ルールについて、自転車の交通ルールが大変悪く、横断歩道で人が立っていても車が無視して通っていくような状態なので、市民として生活するうえでのルールを守っていく意識が必要ではと思います。

・子どもの見守りなど、様々な形でボランティアをしていただいている担い手が高齢化してしまっていて、現状について、大変心配しています。これらの活動を受け継ぐ人が出てきていただけるとありがたいと思います。

・市民憲章の推進テーマを若い世代の方に、京都青年会議所と京都市が一緒になって広

げていけないといけないということを切実に感じました。若い世代からこういった地域を元気にしていったり、文化で地域を元気にしたりしていくことが必要だと思います。

- ・実践目標 3 について、このところ、地藏盆がずっと中止されていて、それが今年ど
れだけ復活できるかということが地元のトピックスになっています。そのような習慣
をもう 1 回、地元の人たちと一緒に復活させられないかと思っています。

- ・電動スクーターをはじめいろんな交通の道具が増えているので、交通マナーについて
改めて啓発が必要と感じています。

- ・実践目標 4 について、文化庁が京都に移転してどういうふうに市民の生活が変わるの
かという実感がまだないと思うので、こういうふうに変ったというようなことを取
り上げていければと思っています。

- ・実践目標 2 について、京都学生祭典も今年度、SDGs や環境についての企画を一つ
大々的に行っていこうと思っているので、その点、何かお力になればと思っています。

- ・実践目標 4 について、お茶を立てたり、着物を着たりだとか、そういう授業を導入し
ている大学もあるので、たくさん京都の大学とコラボして、学生がこのような文化を学
ぶ機会を増やしていくこともできるのではと感じました。

- ・実践目標 3 の地域のつながりについて、以前イベントで子どもたちに伝統産業体験を
実施したところ、非常に子どもたちや親御さんに好評でした。そのようなイベントがま
た復活すればありがたいと思います。

- ・実践目標 4 について、和の文化に触れるためには和室や床の間というものが身近にな
いといけないと思います。

- ・文化庁が京都に移転してきたといっても、私たち 1 人ずつが気をつけて創ることが文
化だと思っているので、地域の中で文化というものを育てていかなければならな
いと思っています。

- ・年齢に関係なく、いつまでも元気で動けることが地域活動にもつながるので、何かし
なければと思う時には、あれをしよう、これをしようとするので、少々はそういうこ
とのつながりにもなってくると思います。

- ・実践目標 3 について、地域のつながりを大切にというところをとりわけ念頭に置いて
進めていかなければならないと思っています。昨今の社会状況の変化とともに、様々
な課題が浮き彫りにされてきている部分があるので、なおさら、そのつながりという部分
をしっかりと大人が実践をして、その背中を子どもたちに見せていくことが未来へつ
ないでいく、子どもたちの健全育成につながっていくと考えています。

- ・ごみの分別について、コミュニティ回収の案内が届かないのではないかと考えていま
す。分別して回収したごみが何に再利用されるのかということや、ということをもっと
皆さんに周知できたら、もっとごみが少なくなると思います。

・町内会の地蔵盆について、子どもさんが少ないとか町内に入ってもらえないなどで、昔みたいに集まるということはもうないということがあります。何か復活できる方法はないのかなと思います。

・コロナ禍から復活したお祭りでは物すごい人出で、店を出された方はあっという間に完売したという事例もあります。そういうことが起こっているので、地域でイベントをもっとやっていけたらいいと思います。

・実践目標2の行動例について、公共交通機関に加えシェアサイクルを利用することを明記してはどうでしょうか。

・学校で行っているごみの分別や伝統文化の体験などの取組が市民憲章とつながっているということが子どもたちにはまだ伝わっていないかなと思うので、子ども用のリーフレットがあればよいと思います。

・子どもたちが様々な都市の問題や、人とのつながりのことや、伝統文化のことなどを知らないということがまず一番の課題です。自分が生まれ育った町がどんな歴史で、どんなことが伝統として引き継がれて、今、実際どんなことが課題なのかということ。もう少し京都の問題を取り入れて、そういうところに目を向けていくということが大事だと思います。